



プレクルーズトレーニング実施報告書

提出年月日： 2015年 3月 8日

氏名： 岩井雅夫

所属機関・職名： 高知大学・教授

IODP 研究航海番号 および航海名	IODP Exp.355
乗船時の役割	Micropaleontology (diatom) (例 Sedimentologist)
出張期間 (移動含む)	2015年 3月4日 ~ 2015年 3月 6日
実施場所	高知コアセンター
実施による成果と今後の計画 本航海の実施海域に近い DSDP Sites 219-221 のコアを、およそ 20m に 1 セクションの割合で観察、スミアスライドを作成、顕微鏡下で観察した。珪藻化石の産出は極めて限定的であった。 酸処理等試料に応じた処理が必要になることがわかり、乗船時には乗船研究者と協力し、効率的な作業を実施できるよう準備したい。 なお、本プレクルーズトレーニングでは、3日中2日間は全て英語で実施、英語によるコミュニケーションのウォームアップとなった。中国からの乗船研究者の関係者もサンプリングにきており、事前にやりとりできた点、偶然ながらも成果であった。	
備考	

注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org) でご提出ください。



プレクルーズトレーニング実施報告書

提出年月日： 2015 年 3 月 9 日

氏名： 鈴木健太

所属機関・職名： 北海道大学大学院環境科学院・修士課程 1 年

IODP 研究航海番号 および航海名	Exp. 355 Arabian Sea Monsoon
乗船時の役割	Sedimentologist
出張期間（移動含む）	2015 年 3 月 4 日 ～ 2015 年 3 月 6 日
実施場所	高知コアセンター
実施による成果と今後の計画 高知コアセンターにおいて Expedition 355 のプレクルーズトレーニングを行った。1 日目はサンプルポリシーおよび計測フローのレクチャーに関する説明を受けた。2, 3 日目は過去にアラビア海で掘削されたコア (DSDP Leg.23-219, 219A, 220, 221) を用いて、コアの肉眼観察とスメアスライドによる観察を行った。これにより、今回の航海で掘削されるコアに含まれる可能性のある堆積物の特徴を理解した。 今後は、今回のプレクルーズトレーニングで得た知識を参考にし、船上での Sedimentologist として仕事のために必要な勉強を進めていく。	
備考	

注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org) でご提出ください。